旭竜小学校

災害時を想定した給食を体験しよう

9月4日は非常食献立です。

<今日の献立>

こめこパン　牛乳　救給カレー　ミックスフルーツ

*食器はパン皿、小皿のみ使用。

*スプーンは非常食用のプラスチック製のものがつきます。

自然災害は遠い地域の出来事ではありません。

私たちの地域でも地震、大雨、台風などから様々な災害が起こることが考えられます。

そこで、非常食を食べることを体験しておくことで災害時でも安心して食べることができます。また、避難訓練等で学習したことを思い出し自然災害への理解を深めましょう。

非常食用カレーライス"救給カレー"ができた理由

～ライフラインが途絶えた中で救援物資が届くまでの「いのちをつなぐ」非常食～

平成23年3月１１日の東日本大震災では建物の損壊、電気、ガス、水道などライフラインの停止により、給食の提供が不可能になりました。とくに震災直後は、道路の寸断により救援物資が届かず食料不足となりました。

全国の栄養教諭、学校栄養職員は、この非常事態に備えて何かできることはないのかと考えました。

そこで、電気・ガス・水道が途絶えた中で<u>特定アレルゲン27品目を使用せず、</u>そして、<u>加熱をしなくてもそのまま食べることができる</u>非常食を作りました。

おうちの人とも話し合ってみましょう

＊ 自然災害が起こった時、家の中でもっとも安全な場所はどこですか？

＊ 地域の避難場所はどこですか？

＊ 非常用持ち出し袋は準備してありますか？（懐中電灯、ラジオ、携帯用トイレ、非常食、その他非常時に必要だと思うものも考えてみましょう）

救給カレーの特徴

・袋の底が広くなっているので、立てることができます。

・子どもでも封をまっすぐあけることができるよう加工してあります。封をあける練習もしてみましょう。